

# 県政レポート

## 瀬戸版

2026年新春号  
愛知県2025年12月定例議会特集  
(編集・発行) 県議会議員(あいち民主)  
長江正成事務所  
〒489-0881 濑戸市熊野町83番地の8(尾張瀬戸税務署南隣)  
TEL(0561)85-5195 FAX(0561)82-1375  
E-mail:masanari@nagae.info  
URL:https://www.nagae.info

### 物価高重点支援策としての大型補正予算を可決 支援策は年度内に県民へ届けたい

県議会12月定例会は12月1日開会し、愛知県は195億4,024万余円を追加する25年度の一般会計補正予算案など81議案を提出しました。また、12月15日議会へ物価高対策として1,288億円を追加提出され、総額1,484億1,453万余円を賛成多数で可決しました。私たちあいち民主県議団は12月定例会で審議議決された支援策を年度内に県民の皆様に届ける取組を大村知事へ閉会後強く要望しました。今後も県民誰もが一步ずつ前進できる県政を目指します。

#### 主な物価高対策

●高校などの奨学金給付制度の拡充	4億1,690万円
●子ども食堂活動支援	1億1,432万円
●私立学校への支援	21億4,687万円
●県立学校の学校給食費負担分の軽減	1億7,287万円
●LPGガス高騰での消費者負担の軽減	46億3,942万円
●中小企業の賃上げ環境整備の促進	2億3,167万円
●社会福祉施設の支援	122億6,797万円
●医療機関などの支援	108億5,406万円
●窯業事業者燃油価格高騰対策支援	2億8,012万円

今年もよろしく  
お願い申し上げます  
令和8年



#### 国際芸術祭「あいち2025」盛況での閉幕



作家ロバート・アンドリュー氏と  
(2025年9月12日)

9月13日に開幕、11月30日まで79日間にわたって開催された国際芸術祭「あいち2025」は会期中の延べ入場者数を12月1日に52万4,069人と発表されました。内訳は愛知芸術文化センター21万6,934人、愛知県陶磁美術館が12万4,939人、瀬戸市のまちなか会場18万2,196人でした。フル・アル・カシミ監督は、『来場者と62組の参加アーティストに対して、「灰と薔薇のあいまい」というテーマとコンセプトに様々ななかたちで共鳴・応答してくださいました。国際芸術祭「あいち2025」で皆さんと共に過ごした時間は、一緒に集い連帯することでより良い未来を築いていくのだという決意を、ますます強いものにしてくれました。』と述べられました。また、大林会長からは『会場を提供いただいた瀬戸市や地域の方々、協賛企業、報道関係者、会場運営をサポートいただいたボランティアの方々など、本当に多くの皆様に支えていただき、無事、会期を終えることができました。』とのコメントが出されました。

### 瀬戸警察署建替え工事に伴い、これまで署への進入路になっていた北西側の道路が 令和8年1月から一般車両通行止めになります

工事車両専用となり、一般車両経路が変更となりますのでご注意ください  
また、駐車場が大幅に縮小されますので公共交通機関や送迎による来署もご検討ください



#### あいち民主県議団12月12日に物価高対策を大村知事へ要望

県民の生活と雇用を守り、経済の好循環と安心な暮らしを守るために、大村知事へ要望しました。

- 市町村が実施するプレミアム商品券発行事業等に対する支援や、LPGガス使用世帯に対する負担軽減を実施することで、物価高騰による日常生活への影響を最小限に抑え、県民が安定した暮らしを送れるよう取り組むこと。
- 賃上げに取り組む中小企業・小規模事業者に対し、物価高騰を上回る賃上げを実現できるよう、生産性向上に向けた取組を支援し、経営改善に向けた取組を強化すること。
- 中小企業・小規模事業者や農林水産業者等の負担を軽減するため、特別高圧電力価格や燃料費の高騰分に対する支援を行うこと。また、医療・介護・保育施設や学校等に対しては、送迎用車両の燃料費や光熱費、食材費の価格高騰分に対する支援を強化すること。
- 地域住民の移動に不可欠な地域公共交通事業者や本県の経済活動を支える物流事業者に対して、燃料費高騰の緩和措置を講じること。
- 人件費や物価の高騰により、経営が圧迫されている医療機関や薬局などに対し、賃上げに必要な支援を実施するとともに、診療に必要な経費の物価高騰対策を講じ、地域の医療提供体制の確保と医療従事者の待遇改善を図ること。



長江正成事務所にて展示

